

# 令和6年度 事業報告書



社会福祉法人 鳳雄会

## 目次

<b>I 法人本部</b>	<b>1</b>
1. 事業報告	1
2. 理事会開催状況	1
3. 評議員会開催状況	2
4. 評議員選任解任委員会開催状況	2
5. 従業員の状況	2
<b>II エンジェルホーム</b>	<b>4</b>
1. 事業報告	4
2. 施設利用状況実績報告	5
3. 研修報告	6
4. 行事報告	7
5. その他報告事項	7
<b>III ほうゆう・キッズホーム</b>	<b>8</b>
1. 事業報告	8
2. 施設利用状況実績報告	9
3. 研修報告	10
4. 行事報告	12
5. その他報告事項	13
<b>IV 子ども未来サポートセンターほうゆう</b>	<b>14</b>
1. 事業実績報告	14
2. 事業実績報告集計表	16
<b>V ほうゆうの里</b>	<b>17</b>
1. 事業報告	17
2. 施設利用状況実績報告	20
3. 研修報告	21
4. 行事報告	22
5. その他報告事項	22

<b>VI</b>	<b>ほうゆうベビーホーム</b>	<b>23</b>
1.	事業報告	23
2.	施設利用状況実績報告	24
3.	研修報告	25
4.	行事報告	26
5.	その他報告事項	27
<b>VII</b>	<b>子ども未来サポートセンターやちよ</b>	<b>28</b>
1.	事業実績報告	28
2.	事業実績報告集計表	30
<b>VIII</b>	<b>ゆうゆう保育園</b>	<b>31</b>
1.	事業報告	31
2.	施設利用状況実績報告	32
3.	研修報告	33
4.	行事報告	33
5.	その他報告事項	34
<b>IX</b>	<b>ゆうゆう苑</b>	<b>35</b>
1.	事業報告	35
2.	施設利用状況実績報告	35
3.	研修報告	37
4.	行事報告	39
5.	その他報告事項	39
<b>X</b>	<b>ゆめ</b>	<b>40</b>
1.	事業報告	40
2.	施設利用状況実績報告	41
3.	研修報告	42

## I. 法人本部

### 1. 事業報告

令和6年度は、新型コロナウイルス感染症も落ち着き面会対応、行事等も考慮された中少しずつ再開された日常が戻ってきましたが、各施設においては、引き続き危機意識を持った施設運営をしてきました。

また、災害対策として避難訓練、備蓄の管理等災害時における福祉施設として地域ニーズにそった支援ができる体制を整えました。地域交流スペースの活用による被災者の受け入れ施設として災害に強い施設運営を心がけています。

人材確保については、各施設困難状態でありホームページ等を使い施設の紹介などを進めているが、まだまだ十分な確保には至ってなく介護職員については、外国人技能実習生や外国人の労働力に頼った人材確保も並行して進めています。

当法人の児童福祉施設においては、社会的養護による小規模グループケアの推進についての家庭的養護のための施設整備が完了し、家庭的養育の施設運営を行うことが出来ました。

これからも地域共生社会の実現に向けた支援体制・地域づくりの担い手として地域と協働していきたいと思えます。

### 2. 理事会開催状況

開催日	出席者	議案
R6. 6. 8	理事 6 名 監事 2 名	1号議案 令和5年度業報告 2号議案 令和5年度決算 3号議案 評議員選任解任委員の選任 4号議案 評議員の推薦 5号議案 給与規程の改訂 6号議案 随意契約 7号議案 職務の執行状況
R6. 7. 8	理事 6 名 監事 2 名	1号議案 新規事業 障がい者グループホーム 2号議案 経理規程改訂
R7. 2. 15	理事 6 名 監事 2 名	1号議案 ゆうゆう苑運転資金の借入 2号議案 空調設備の更新工事 3号議案 監査報告 4号議案 ゆうゆう苑の運営状況

開催日	出席者	議案
R7. 3. 22	理事 5 名 監事 2 名	1号議案 令和7年度事業計画 2号議案 令和6年度補正予算 3号議案 令和7年度予算 4号議案 随意契約 5号議案 規程の改訂 6号議案 職務の執行状況 7号議案 ゆうゆう苑施設長の選任
R7. 3. 22	理事 5 名 監事 2 名	1号議案 介護福祉士就学資金 2号議案 八千代市との土地交換

### 3. 評議員会開催状況

開催日	出席者	議案
R6. 6. 23	評議員 5 名 理事 2 名	1号議案 令和5年度事業報告 2号議案 令和5年度決算

### 4. 評議員選任解任委員会開催状況

開催日	出席者	議案
R6. 6. 8	委員 3 名 理事長	2名の辞任による新評議員の選任

### 5. 従業員の状況

#### 1) 法人全体雇用状況

雇用形態		人数		平均年齢	平均勤続年数
		年度初	年度末		
常勤	正職員	173	175	37.9 歳	5 年 11 ヶ月
	定年後再雇用	18	18	65.7 歳	7 年 2 ヶ月
パート		77	81	58.5 歳	5 年 9 ヶ月
全体		268	274	45.8 歳	5 年 11 ヶ月

## 2) 事業所別雇用状況

事業所	雇用形態	年度初	入職 (うち異動)		退職 (うち異動)		年度末
乳児院 エンジェルホーム	常勤	35	1		5		31
	パート	8	1		1		8
児童養護施設 ほうゆう・キッズホーム	常勤	39	2		4	(1)	37
	パート	1	1				2
子ども未来サポート センターほうゆう	常勤	3					3
	パート						0
特別養護老人ホーム ほうゆうの里	常勤	29	10		4	(1)	35
	パート	20	6	(1)	5		21
乳児院 ほうゆうベビーホーム	常勤	29	3		4		28
	パート	7					7
子ども未来サポート センターやちよ	常勤	3			1		2
	パート	1					1
ゆうゆう保育園	常勤	9					9
	パート	14					14
特別養護老人ホーム ゆうゆう苑	常勤	41	20	(5)	14		47
	パート	26	11		13	(4)	24
訪問看護ステーション ゆめ	常勤	3	1		1		3
	パート		3		1		2
合計	常勤	191	37	(5)	33	(2)	195
	パート	77	22	(1)	20	(4)	79
	合計	268	59	(6)	53	(6)	274

## 3) 育児休業取得実績

取得		人数	率	復職		人数	率
		男性	1			100%	男性
女性	2	100%	女性	4	100%		
全体	3	100%	全体	5	100%		

## II. エンジェルホーム

### 1. 事業報告

令和6年度は、人材育成と育ちの繋がりを事業計画に掲げ取り組んできました。

人材の育成のためにまず、実習指導に力を入れてきました。実習係が中心となり実習生が意図的に行っていることに気付いて伝えることを意識的に行い、丁寧な実習指導を心掛けてきました。それにより指導者自身の指導の幅が広がり、視点の強化にも繋がったと感じています。それが実習生の自信になり、成功体験になり、更には就職に繋がった学生もいました。今後は実習係だけでなく、実習指導に就く全ての職員が意図を持って指導ができるよう取り組んでいきます。

年間を通してたくさんの繋がりを持つことができたと感じています。

家庭引き取りや里親宅に委託になった親子を行事に招待しました。それだけでなく、必要に応じてライフストーリーワークをおこなったり、LINE ワークスを活用して相談に応じたり、本来ショートステイは2歳までの児を受け入れています。当院を退所した児は3歳までの受け入れを可能にし、継続的に支援を行うことができました。

措置変更になった児への継続的支援として来院の申し出にも積極的に応えてきました。退所したこどもたちがどんなところで育ったのか、どんな人にどんな風に養育されたのかを伝えたり、入所中に好んでいた食事の提供も行うことができました。アルバムの作成についても内部研修で勉強会を行い、大切に養育されたことが伝わるように、具体的なエピソードを残すことの重要性を各職員が認識し、さらには定期的にアルバムの作成ができるような時間を取る仕組みを作ることにより、丁寧なアルバム作りに繋がったと感じています。

権利擁護委員会は一年を通してライフストーリーブックの作成に取り組んできました。児童養護施設に行く機会が減ることも多いです。面会の多い乳幼児期だからこそ今聞けることを記録に残し、こどもたちの知る権利を擁護できるような繋ぎブックの完成を目指します。

夏祭りには県内の乳児院のこどもたちを招待し交流を行ったり、県内乳児院の新人職員を集めて合同研修を行ったり、ワーキンググループで乳児院版の実習日誌の作成を行うことで、施設は違えども、同じ目的に向かって進んでいることを実感できました。

コロナ禍に中止していたボランティアの受入も再開し、たくさんの方にボランティアに来て頂きました。また Amazon の欲しいものリストを通じてたくさんのご支援を頂きました。SNS を通じての繋がりも多く持てました。多くの方に支えられていると感じた1年になりました。

人材育成と育ちの繋がりは令和6年度に限ったことではありません。今後もこどもたちの最善の利益のために継続的に取り組んでいきます

## 2. 施設利用状況実績報告

### 1) 措置入所・一時保護委託

定員：20名

	措置入所		一時保護		合計	
	月初人数	延べ人数	月初人数	延べ人数	月初人数	延べ人数
4月	12	360	2	123	14	483
5月	12	332	5	175	17	507
6月	10	300	4	151	14	451
7月	10	310	7	221	17	531
8月	10	310	7	270	17	580
9月	11	330	7	216	18	546
10月	13	403	6	201	19	604
11月	14	420	6	166	20	586
12月	14	434	4	170	18	604
1月	14	434	6	178	20	612
2月	14	392	6	168	20	560
3月	16	496	4	119	20	615
合計	150	4,521	64	2,158	214	6,679

### 2) 入退所の状況

入所理由	人数	退所理由	人数
養育困難	14	家庭復帰	12
身体的虐待	5	措置変更	4
ネグレクト	3	里親	1
合計	22	合計	17

### 3) 子育て短期支援事業

ショートステイ利用延べ人数

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生保 ひとり親非課税	3	8	7	3	7	13	11	8	10	14	5	9	98
非課税 ひとり親課税	11	0	4	1	1	7	8	9	6	9	9	11	76
その他	2	9	8	10	10	8	9	9	9	6	11	10	101
合計	16	17	19	14	18	28	28	26	25	29	25	30	275

## 3. 研修報告

## 1) 外部研修

日程	研修内容	参加人数
R6. 6. 3～4	千葉県児童福祉施設協議会初任者研修会	3
R6. 6. 13～14	第 58 回関東ブロック乳児院研究協議会	3
R6. 7. 11～12	第 67 回全国乳児院協議会	3
R6. 9. 5	乳幼児のためのライフストーリーワーク	1
R6. 9. 30	千葉県児童福祉協議会中堅職員研修会	2
R6. 10. 10～11	第 73 回全国乳児院協議会	1
R6. 11. 7～8	第 41 回関東ブロック乳児院協議会	2
R6. 11. 11～12	千葉県児童福祉協議会初任職員フォローアップ研修会	3
R6. 11. 27～28	社会的養護を担う児童福祉施設長研修会	1
R6. 12. 18～R7. 2. 20	基幹的職員研修	1
R7. 1. 27	ユニットリーダー研修	2
R7. 1. 29	乳幼児のためのライフストーリーワーク	1

## 2) 内部研修

日程	研修内容	参加人数
R6. 4. 22	事業計画・虐待・プライバシー	全職員
R6. 5. 8	里親支援研修「LSW について」	全職員
R6. 6. 8	家庭支援専門相談員研修「家庭支援業務について」	全職員
R6. 7. 8	看護師「スケンケア」	全職員
R6. 8. 8	権利擁護委員会「アルバム作成について」	全職員
R6. 9. 9	個別対応職員「発達障がいと感覚統合について」	全職員
R6. 10. 8	看護師「SIDS」	全職員
R6. 11. 8	栄養士「食品衛生」、看護師「こどもたちを育む『せい』教育」	全職員
R7. 1. 8	教育チーム「地域支援」	全職員
R7. 2. 7	教育チーム「養育の質の向上」	全職員
R7. 3. 7	教育チーム「養育の質の向上」	全職員

#### 4. 行事報告

日程	行事内容	参加人数
R6. 4. 1	お花見会	全児童
R6. 5. 5	端午の節句	全児童
R6. 5. 17	ディズニーランド	2
R6. 6. 11	運動会	13
R6. 6. 25	ディズニーランド	2
R6. 7. 7	七夕	全児童
R6. 7. 27	夏祭り	全児童
R6. 8. 21	ファンタジーキッズリゾート	3
R6. 9. 17	お月見	全児童
R6. 9. 26～27	お泊り遠足（鴨川シーワールド）	4
R6. 10. 10	しまぐるランド	3
R6. 10. 21	お楽しみ遠足（実籾公園）	9
R6. 10. 31	ハロウィン	全児童
R6. 11. 15	アンデルセン公園	2
R6. 11. 20	七五三	4
R6. 12. 12	しまぐるランド	3
R6. 12. 13	キッズダム	2
R6. 12. 23	クリスマス会	全児童
R7. 1. 1	初詣	全児童
R7. 1. 25	しまじろうコンサート	3
R7. 2. 2	節分	全児童
R7. 2. 18	アニマルカフェ	2
R7. 3. 3	桃の節句	全児童
R7. 3. 7	リトルプラネット	2

#### 5. その他報告事項

1) 施設実習受入実績

保育実習	18人
里親実習	18人

2) ボランティア実績

保育補助	9人
------	----

3) 広報誌発行実績

4月 (No.61)
8月 (No.62)
1月 (No.63)

### Ⅲ. ほうゆう・キッズホーム

#### 1. 事業報告

令和6年度4月、1ホーム職員3人体制で全8ホームの運営を開始しましたが、5月に新規採用した職員が早々に退職。その後1年間、求人募集を出しても埋まらないまま職員を1名欠いての運営となりました。

中学生以上の高齢児が入所児童の半分以上となり、子どもの自立に対する課題が顕著に表れてきました。高校に進学しても卒業に至らなかった子どもは、その後就労に繋げるも継続する事も、また家庭に戻る事も出来ない為、短時間のアルバイトを続けながら、日々をおくっています。衣・食・住の生活が保障されている環境で自立に対する意識を育てる事が、今のほうゆう・キッズホームの最大の課題と感じています

##### 1) 施設の機能強化推進に向けた取り組み

令和6年度の計画に施設の退所者と入所児との交流活動の事業をあげておりましたが、施設退所後も社会的支援を要する退所者が多く、施設が期待する『社会に自立する際や就労のための心構え』を入所児に伝える目的からは程遠い為、実施に至ることが出来ませんでした。

企業の協力を得ての「社会体験・就労体験事業」は企業との調整で令和6年度での開催は叶わず、令和7年度への持ち越しとなりました。

##### 2) 施設職員人材確保及び人材育成に向けて

地域小規模児童養護施設等バックアップ職員の配置は職員確保が叶わず、実現できませんでした。その為、年度早々に本園の新規採用職員の退職と地域小規模児童養護施設への応援に専門職員に手伝ってもらいながら、子ども達の養育を維持してまいりました。

実習生指導に向けた取り組みでは、勉強会に職員が参画し、養成校が求めるニーズと施設職員として子どもとの関わりに気付ける機会が得られました。

##### 3) 専門性・職員の質の向上への取り組み

年間を通して49講座の外部研修に延べ71名の職員が参画。内部研修も5月に外部講師を招いた『生教育』に関する研修をはじめ、年間計画に沿った研修を年間12回行う事が出来ました。研修を重ね、新たな課題に気付く機会ともなりました。

## 2. 施設利用状況実績報告

### 1) 措置入所・一時保護委託

定員：本体施設 38 人 / 地域小規模 6 人 2 ヲ所

	措置入所		一時保護		合計		地域小規模東棟		地域小規模西棟	
	月初	延べ	月初	延べ	月初	延べ	月初	延べ	月初	延べ
4月	33	990	1	30	34	1,020	6	180	6	180
5月	33	1,023	1	31	34	1,054	6	186	6	186
6月	33	990	1	30	34	1,020	6	180	6	180
7月	33	1,023	1	31	34	1,054	6	186	6	186
8月	33	1,023	1	31	34	1,054	6	186	6	186
9月	33	988	1	30	34	1,018	6	180	6	180
10月	32	992	1	31	33	1,023	6	186	6	186
11月	32	969	1	21	33	990	6	180	6	180
12月	33	1,023	0	0	33	1,023	6	186	6	186
1月	33	1,023	0	26	33	1,049	6	186	6	186
2月	34	952	0	0	34	952	6	168	6	168
3月	35	1,066	0	0	35	1,066	6	186	6	186
合計	397	12,062	8	261	405	12,323	72	2,190	72	2,190

### 2) 入退所の状況

入所理由	人数	退所理由	人数
養育困難	0	家庭復帰	1
ネグレクト	2	進学	1
身体的虐待	4	自立	2
合計	6	合計	

### 3) 子育て短期支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ショートステイ	4	2	6	0	0	0	9	5	5	6	8	2	47
トワイライトステイ	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	3
休日預かり	2	4	3	0	0	0	2	4	0	2	2	1	20
合計	6	6	9	0	0	0	11	10	6	8	10	4	70

## 3. 研修報告

## 1) 外部研修

日程	研修内容	人数
R6. 4. 22	福祉職員のための接遇マナー研修	3
R6. 5. 18～20 R6. 11. 23～25	SBI 子ども希望財団児童養護施設職員研修	1
R6. 5. 20	防火管理等の実務講習	1
R6. 5. 24	千児協合同研修会	2
R6. 5. 24	令和6年度千葉県母子生活支援施設部会 母子福祉研修会パート1	1
R6. 5. 29～30、9. 11～12	乳児院・児童養護施設・児童心理治療施設指導者研修	1
R6. 5. 31	ライフストーリーワーク体験講座	1
R6. 6. 3～4	千児協 初任者研修	2
R6. 6. 9～10	全国春季セミナー	1
R6. 6. 15	こども家庭ソーシャルワーカーに求められる専門性	1
R6. 6. 20 R6. 7. 11	関わりの中のトラウマインフォームドケア	2
R6. 6. 25～7. 16 全4回	社会福祉法人の会計と簿記研修 (基礎編)	1
R6. 6. 29～30	全国児童養護施設問題研究会第51回全国大会	1
R6. 7. 9～10	第59回関東ブロック児童養護施設研究協議会	3
R6. 7. 15	やさしいファシリテーション技法	3
R6. 8. 17 R6. 8. 31	0歳児親子支援 中級コース	1
R6. 9. 5	令和6年度養育・権利擁護セミナー	1
R6. 9. 12	社会的養護の子どもたちに寄り添って	1
R6. 9. 12	女性支援・虐待相談担当職員研修 (I)	1
R. 9. 18	子ども虐待と精神医療	1
R6. 9. 28～29	乳幼児のこころと子育て	1
R6. 9. 30	千児協令和6年度中堅職員研修会	2
R6. 10. 1	アンガーマネジメント研修	1
R6. 10. 9～10	第38回関東ブロック児童養護施設職員研修会	4
R6. 10. 11	ライフストーリーワーク・基礎編講座	1
R6. 10. 12	千児協 児童養護部会研修	1
R6. 10. 19	千葉県里親大会 2024	1
R6. 10. 22～24	全国児童養護施設長研究協議会	1
R6. 10. 23	ライフストーリーワーク「困難な事例のケース検討」	1
R6. 10. 15～11. 12 全4回	社会福祉法人の会計と簿記研修 (実務編)	1
R6. 11. 14 R6. 12. 6 R7. 1. 24	こども家庭ソーシャルワーク専門職養成研修	1
R6. 11. 18	2024年第2回フォローアップ・ミーティング	1
R6. 11. 27～28	社会的養護を担う児童福祉施設長研修会	1

日程	研修内容	人数
R6. 11. 11～12	初任職員フォローアップ研修会	2
R6. 12. 5～7	2024 全国秋季セミナー	1
R6. 12. 18 R7. 1. 27 R7. 2. 4	令和 6 年度基幹的職員研修（再受講）	5
R6. 12. 7	特別養子縁組当事者によるプチ・フォーラム	1
R6. 12. 21	里親家庭支援者向けオンラインイベント	1
R7. 1. 16 R7. 2. 20	社会的養護下における外国籍の子どもたちへの支援を考える	1
R7. 1. 24	令和 6 年度児童福祉に関する法的対応研修④	1
R7. 1. 27	ユニットリーダー研修	3
R7. 1. 30	DV による子どもへの影響等に関する研修	1
R7. 1. 31	里親支援センター等人材育成プログラムスペシャルフォーラム	1
R7. 2. 13	母子福祉研修会パート 4	1
R7. 2. 14	第 64 回子どもの虐待防止セミナー性虐待とトラウマ	1
R7. 2. 18～19	全養中堅職員研修	1
R7. 2. 27	令和 6 年度児童相談所等関係機関職員研修	3
R7. 3. 4 R7. 3. 11	吃音の基礎知識と心理支援	1
R7. 3. 14～16	第 7 回 FLEC フォーラム	1

2) 内部研修

日程	研修内容	人数
R6. 4. 26	ディスカッション『私の子育て観』	29
R6. 4. 26	進路会議	11
R6. 5. 24	生教育を見直そう～性教育＝生きる事	27
R6. 6. 21	社会的養護におけるアタッチメントの問題とその支援 生活支援の重要性	27
R6. 7. 12	感染症を学びましょう～16 種の感染症について、その予防～	28
R6. 9. 27	課題の改善と良い面を伸ばす取り組み	25
R6. 10. 25	個人情報保護	26
R6. 11. 29	子どもの嘔吐・鼻血の応急処置について	28
R6. 12. 20	心理検査結果の理解の仕方	24
R7. 1. 31	感染症になったとき感染を広げないために	31
R7. 2. 28	児童養護施設実習パークサイドハウス施設見学	4
R7. 3. 14	アルコール？次亜塩素？ウイルスで効果が違う消毒剤と注意点	31

## 4. 行事報告

日程	行事内容	人数
R6. 5. 3、10. 5	収穫体験招待（ファーマーズリンク様）	22
R6. 5. 4	親子フェスティバル	7
R6. 7. 24、7. 29	映画招待	11
R6. 7. 25	中高生女兒プール外出	6
R6. 8. 1	夏の大運動会（施設内企画）	26
R6. 8. 4	消防署見学	13
R6. 8. 6	サッカー交流会	15
R6. 8. 8～7	中高生キャンプ	25
R6. 8. 15	千児協卓球大会	16
R6. 8. 18	夕涼み会（施設内企画）	48
R6. 8. 19	プログラミング教室	7
R6. 8. 20	小学生男児プール外出	12
R6. 8. 22	幼児・小学生女兒プール外出	15
R6. 8. 24	ゴールドマン・サックス ワークショップ	10
R6. 9. 7	野球観戦招待	7
R6. 10. 5	サッカー観戦招待	6
R6. 10. 6	千児協オセロ大会	8
R6. 10. 10、12. 12	キッザニア東京招待	8
R6. 10. 19	すみだ水族館招待	16
R6. 10. 27	ハロウィンパーティー（施設内企画）	47
R6. 10. 27	観劇招待	16
R6. 11. 2	フットサル交流会	15
R6. 11. 17	千児協こども文化祭	13
R6. 11. 24	七五三参り	4
R6. 12. 2	東京ディズニーランド外出	8
R6. 12. 7、12. 21 R7. 1. 12	農作業体験招待（ブドウの木ファーム）	15
R7. 1. 3 R7. 1. 4	初詣（桜ホーム・柊ホーム・西棟）	20
R7. 2. 15	千児協マラソン大会	20
R7. 2. 24	ボクシング観戦招待	5
R7. 3. 8	千児協南総サッカー大会	15
R6. 4. 7 R6. 6. 15 R6. 9. 29 R7. 2. 2	ホーム、個別外出・外食・被服購入（東棟）	12
R6. 8. 3 R6. 11. 23 R7. 1. 19	ホーム、個別外出・外食・被服購入（西棟）	22

日程	行事内容	人数
R7. 2. 24	ホーム、個別外出・外食・被服購入（旭ホーム）	8
R6. 4. 4 R6. 6. 8 R6. 9. 15 R7. 1. 19	ホーム、個別外出・外食・被服購入（椿ホーム）	26
R6. 8. 31、12. 28 R7. 1. 20	ホーム、個別外出・外食・被服購入（楠ホーム）	19
R6. 7. 22、10. 20 R6. 11. 4、R7. 1. 26	ホーム、個別外出・外食・被服購入（柚ホーム）	22
R6. 6. 2 R6. 7. 21 R6. 10. 22 R6. 12. 21 R7. 2. 8	ホーム、個別外出・外食・被服購入（桜ホーム）	31
R6. 6. 18、10. 15 R7. 2. 24	ホーム、個別外出・外食・被服購入（柊ホーム）	20
R6. 8. 6 R6. 8. 12	ユニット外出（桜・柊ユニット、旭・椿ユニット）	19

## 5. その他報告事項

### 1) 施設実習受入実績

保育実習	20人
里親実習	4組

### 2) ボランティア受入実績

遊びボランティア	7回
空手	83回
茶道教室	8回
金融管理個別面談	16回

## IV. 子ども未来サポートセンターほうゆう

### 1. 事業実績報告

A、相談件数（個別相談・指導）

※設置運営要綱4-（1）（4）の一部等に該当

（1）月別相談実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受理人数	75	30	26	9	10	4	23	13	7	10	11	7	225人
継続相談人数	3	44	58	44	45	49	39	39	40	53	42	52	508人
月別相談実人数	78	74	84	53	55	53	62	52	47	63	53	59	733人

<※月別相談実人数①は相談を受け付けた方の実人数>

（2）月別相談延件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	106	107	157	80	102	133	126	121	87	80	89	84	1272
来所相談	7	18	30	21	16	11	10	8	10	9	4	8	152
訪問相談	43	60	63	50	37	75	64	66	63	62	69	63	715
心理療法等	12	17	17	15	17	15	26	15	20	22	17	15	208
メール・SNS・手紙相談	7	5	7	2	1	3	0	2	3	0	0	0	30
その他	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5	8	2	16
月別延件数	175	207	274	168	173	238	226	212	183	178	187	172	2393件

<※月別相談延件数は、実際に支援を行った回数のこと>

（3）相談・指導内容の種別延件数

養護		保 健	障 害	非行		育 成				その他	合計
虐待	その他			ぐ犯等	触法行為	性格行動	不登校	適 性	育児・しつけ		
22	574	109	17	1	0	265	931	12	70	392	2393件

<※②と③と④は同数>

（4）相談経路別受付延件数

県・市町村			児童福祉施設		保健所 及び 医療機 関	学校等	家族 親戚	近隣 知人	児童 本人	18歳 以上本 人	里親 里子	その他	合計
児童 相談所	福祉 事務所	その他	保育所	その他									
205	290	99	48	193	29	262	723	0	334	203	0	7	2393件

<※②と③と④は同数>

B-1 指導措置委託【児童相談所からの指導委託】

※設置運営要綱4-（3）に該当

（1）受託人数

（月別受託人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	1	7人

（実人数）

（※総委託月数と同数）

1人 ⑥<※委託を受けた人数>

（2）支援内容の種別

養護		保 健	障 害	非行		育 成				その他	合計
虐待	その他			ぐ犯等	触法行為	性格行動	不登校	適 性	育児・しつけ		
0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1人

<※⑥と⑦は同数>

（3）月別支援延件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話支援	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	2	0	6
来所支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問支援	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4
心理療法等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
メール・SNS・手紙支援	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月別延件数	1	2	0	0	1	0	2	0	0	1	3	2	12件

IV. 子ども未来サポートセンターほうゆう

B-2 指導促進事業【市町村（特別区を含む）の要対協において児家センが主たる支援機関とされたケース】

(1) 受託人数

〈月別受託人数〉

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	人 <sup>⑨</sup>

〈実人数〉

〈※総委託月数と同数〉

人<sup>⑩</sup> < ※委託を受けた人数 >

(2) 支援内容の種別

養 護		保 健	障 害	非 行		育 成			その他	合計
虐待	その他			＜犯等＞	触法行為	性格行動	不登校	適 性		
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	人 <sup>⑪</sup>

< ※⑩と⑪は同数 >

(3) 月別支援延件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
来所支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心理療法等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
メール・SNS・手紙支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月別延件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	件 <sup>⑫</sup>

C、市町村（特別区を含む）の求めに応ずる事業

※設置運営要綱4-（2）に該当

事業名	実施回数	内 容
合計	回	⑬

D、里親等への支援（相談対応「実績報告A-1、個別相談」以外の支援・事業等）

※設置運営要綱4-（4）に該当

事業名	実施回数	内 容
やまびこプレーパーク	7	里親同士の情報交換や里子同士が交流する場の提供。
やまびこデイキャンプ	1	里親同士の情報交換や里子同士が交流する場の提供。 やまびこプレーパークの拡大版。
里親に関する研修視察	4	登録前基礎研修・更新研修・基礎研修に視察参加し、 参加里親に助言を行った。
合計	12回	⑭

E、関係機関等との連携・連絡調整

※設置運営要綱4-（5）に該当

事業名	実施回数	内 容
要対協事前協議	3	美浜区の要対協事前協議に参加
要対協実務者会	6	花見川区・美浜区の要対協実務者会議に参加
要対協点検会議	2	美浜区の要対協点検会議に参加
ケースカンファ	11	複数の関係機関が集まり、ケースの情報共有と今後の支援について検討
応援ミーティング	6	保護者・本人・児童・関係機関で支援の振り返りと今後の支援について検討
連携・連絡調整	801	関係機関とケースの情報共有と今後の支援について検討
合計	829回	⑮

## 2. 事業実績報告集計表

①	相談の実人数（合計）	225 人
②	相談延件数（合計）	2,393 件
②の内訳	電話相談件数	1272 件
	来所相談件数	152 件
	訪問相談件数	715 件
	心理療法等の件数	208 件
	メール・SNS・手紙相談の件数	30 件
	その他の相談の件数	16 件
⑬	市町村（特別区を含む）の求めに応ずる事業	0 回
⑭	「里親等への支援」（相談対応以外の支援・事業等）の回数	12 回
⑮	「関係機関等との連携・連絡調整」の回数	829 回
⑯	要綱に規定された事業回数（合計）	841 回
⑰	相談延件数と要綱に規定された事業回数の総合計（②+⑯）	3,234 件・回
②-1	子ども家庭庁が求める訪問相談件数（実績を2倍した件数）	1,430 件
⑱	子ども家庭庁が求める相談延件数（訪問相談件数については2倍）と事業回数の総合計	3,949 件・回
⑤	児童相談所からの指導委託延人数（＝委託総月数）	7 人
⑥	児童相談所からの指導委託実人数	1 人
⑧	支援延件数（合計）	12 件
⑧の内訳	電話支援件数	6 件
	来所支援件数	0 件
	訪問支援件数	4 件
	心理療法等の件数	0 件
	メール・SNS・手紙の支援件数	2 件
	その他の支援の件数	0 件
⑨	市町村（特別区を含む）の要対協において児家センが主たる支援機関とされたケース受託延人数（＝委託総月数）	0 人
⑩	市町村（特別区を含む）の要対協において児家センが主たる支援機関とされたケース受託実人数	0 人
⑫	支援延件数（合計）	0 件
⑫の内訳	電話支援件数	0 件
	来所支援件数	0 件
	訪問支援件数	0 件
	心理療法等の件数	0 件
	メール・SNS・手紙の支援件数	0 件
	その他の支援の件数	0 件

## V. ほうゆうの里

### 1. 事業報告

令和6年度、ほうゆうの里では離職者14名（常勤5、非常勤3、派遣6）入職者10名（常勤7、非常勤2、派遣1）ありました。入職者10名の内5名は特定技能外国人と技能実習生となっていて職員の外国人比率は高くなってきています。派遣職員を減らし直接雇用の人数を増やそうといたしましたが思うような結果が得られず人材不足は深刻です。令和6年度の目標に上げたショートステイとIユニットの再開も思う様な人材確保が出来ず再開にはいたりませんでした。

そんな中、技能実習生の3名が夜勤業務を開始出来るほどに成長し確実にスキルアップしています。介護福祉士試験にも4名の外国人が挑戦し1名の合格者がありました。引き続き日本語を学びやすい環境を整えキャリアアップを目指せるように支援していきたいと思います。

#### [介護支援専門員]

- 1) 入居者/家族の意向を聞き取り専門職員と協働し施設サービス計画書の作成に関して概ね遂行できた。
- 2) モニタリングを通して、計画に沿って支援が行われているかを確認し必要に応じて計画書の見直しを行う事に関しモニタリングの機会がやや不足していた。
- 3) 入居者の状態の把握に努め、介護保険サービスの適切な利用を支援できた。
- 4) 家族への定期的な近況報告を通して、家族の不安を解消するよう努める事が出来た。

#### [生活相談員]

- 1) 昨年同様、職員不足により各委員会担当職員が集結しての十分な話し合いを行う事が出来なかった。
- 2) イベントに関して少しづつではあるが、実施出来たと思う。
- 3) 入居者様の受診や報告に関して、ご家族様に報告する心がけが出来たと思う。
- 4) 満床にする為に、昨年よりも面談の機会を設けご入所にはつながっているが、本年は退所者も多く入居者を増やす事が出来なかった。

#### [看護]

- 1) 入居者に寄り添う看護をめざしていたが、達成できていない
- 2) 他部署との連携強化は概ね達成できた

[機能訓練]

- 1) 集団体操を定期的の実施でき始めたが、抜けもある。今後も継続して行う。
- 2) 委員会や会議に参加出来ている。その他、スタッフや医務、CM 等と適宜入居者様に関しての話が出来ていた。
- 3) 備品の不具合や故障等を把握し、入居者さまに提供できる備品を確保できた。経年劣化による不具合が目立ってきており、随時施設長に報告する。

[事務]

- 1) ご家族様からの正確な情報収集とご家族様への的確な情報提供は達成できた。
- 2) 介護保険をはじめとする業務全般の知識の向上は概ね達成できた。
- 3) 円滑な事務処理を行う為、職員間での報告・連絡・相談(報連相)の徹底は概ねできた。

[デイサービス]

- 1) 「ADL の変化」を意識し、一人一人にあった介護をし、寄り添って支援することができたと思う。
- 2) 個別訓練を継続することで、日常を心身共に豊かな生活を送る事ができるよう支援していく目標に対し、個人にあった訓練をする事はできていると思うが、もっと細かい部分を充実していけるよう今後の課題にしたい。

[居宅介護支援事業所]

- 1) 利用者様の意思や人格を尊重しながら在宅生活が継続できるように、家族の状況も含め支援を行っている。
- 2) 地域包括支援センターからの新規や困難ケースの依頼、また昨今のケアマネ不足により近隣の居宅等からの引継ぎケースも多く、現在も感染症に留意しつつ対応している。
- 3) 今後も独居・身寄りがいない方・高齢者夫婦 2 人暮らし・認知症や精神疾患を抱えている利用者や家族も増えて行く事が予測される為、ケアマネが一人で抱え込むことがないように、関係機関と連携や相談をしながら支援していきたい。

[AB ユニット]

職員の確保が困難で、ショートステイのユニットを再開することができなかった

[CD ユニット]

- 1) 実施できたと思われる。
- 2) 実施できたと思われる。今後も定期的なユニット会議にて情報を共有していく。
- 3) 可能な限り実施出来たと思われる。今後も訴えや悩みの傾聴や観察を継続していく。

- 4) 予防に努めたが、R7.1、2月に、入居者及び職員数名コロナ感染。結果としては感染者が出てしまったが、職員それぞれがその後の徹底した感染対策を行えた為、発症者は最小限に収められたと感じる

[EF ユニット]

- 1) コミュニケーションを密にとれました
- 2) 感染症を避け、レクレーションを行えました
- 3) 個別に電話対応など学習しました

[GH ユニット]

- 1) E P A候補生 第36回介護福祉士試験合格。第37回介護福祉士試験受験の為実務者研修3名受講。また同試験受験の為介護過程Ⅲ受講1名。初任者研修2名受講。
- 2) GHユニット令和6年7月、職員から入居者にコロナウイルス感染し対応。また令和7年2月コロナウイルスGユニット2名感染対応する。

[I ユニット]

職員の確保が困難で、ユニットを再開することができなかった

[J ユニット]多床室

- 1) 基本を振り返り、1つ1つの業務・介護を丁寧に行う。  
人材の不足により職員一人当たりの業務が多くなり入居者への寄り添い、観察が不十分であった。接遇、言葉遣いについては入居者より苦情もあった為、個別に注意、指導を行った。
- 2) 職員のスキルアップ  
初任者研修を受講の職員がいた為、シフトの調整を行った。オンライン研修が開始になり、知識の向上につながった。今後は、得た知識を活かして介護をしていけるよう継続していく。

## 2. 施設利用状況実績報告

## 1) 特別養護老人ホーム

	定員70	延べ 人数	稼働率	平均 年齢	平均要 介護度
4月	2,100	1,424	67.8%	88.25	3.8
5月	2,170	1,483	68.3%	88.17	3.8
6月	2,100	1,450	69.0%	87.94	3.8
7月	2,170	1,455	67.1%	88.03	3.9
8月	2,170	1,380	63.6%	88.15	3.8
9月	2,100	1,320	62.9%	87.83	3.9
10月	2,170	1,415	65.2%	87.30	3.8
11月	2,100	1,388	66.1%	87.25	3.8
12月	2,170	1,425	65.7%	87.67	3.7
1月	2,170	1,420	65.4%	87.78	3.8
2月	1,960	1,274	65.0%	87.57	3.8
3月	2,170	1,441	66.4%	87.75	3.9
合計	25,550	16,875	66.0%	1053.69	45.80
平均	2,129	1,406	66.0%	87.81	3.8

## 2) 従来型

	定員30	延べ 人数	稼働率	平均 年齢	平均要 介護度
4月	900	593	65.9%	83.47	4.0
5月	930	593	63.8%	83.55	4.0
6月	900	570	63.3%	83.29	4.0
7月	930	577	62.0%	83.37	4.0
8月	930	558	60.0%	83.04	4.0
9月	900	551	61.2%	83.48	4.1
10月	930	558	60.0%	83.93	4.1
11月	900	542	60.2%	83.46	4.1
12月	930	576	61.9%	83.78	4.1
1月	930	623	67.0%	83.58	4.0
2月	870	588	67.6%	83.65	4.0
3月	930	623	67.0%	83.75	4.0
合計	10,980	6,952	63.3%	1,002.35	48.4
平均	915	579	63.3%	83.53	4.0

## 3) ショートステイ

	定員20	延べ 人数	稼働率	平均 年齢	平均要 介護度
4月	600		0.0%		
5月	620		0.0%		
6月	600		0.0%		
7月	620		0.0%		
8月	620		0.0%		
9月	600		0.0%		
10月	620		0.0%		
11月	600		0.0%		
12月	620		0.0%		
1月	620		0.0%		
2月	560		0.0%		
3月	620		0.0%		
合計	7,300	0	0.0%	0.00	0.0
平均	608	0	0.0%	0.00	0.0

## 4) デイサービス

	定員10	延べ 人数	稼働率	平均 年齢	平均要 介護度
4月	260	84	32.3%	84.73	1.8
5月	270	87	32.2%	86.11	2.3
6月	250	90	36.0%	86.44	2.2
7月	270	92	34.1%	86.55	2.3
8月	270	94	34.8%	86.33	2.5
9月	250	94	37.6%	85.75	2.3
10月	270	97	35.9%	85.83	2.6
11月	260	99	38.1%	86.02	2.4
12月	240	85	35.4%	86.72	2.6
1月	240	80	33.3%	86.80	2.6
2月	240	77	32.1%	86.18	2.7
3月	260	83	31.9%	86.58	2.3
合計	3,080	1,062	34.5%	1,034	28.6
平均	257	89	34.5%	86.17	2.4

## 3. 研修報告

## 1) 外部研修

日程	研修内容	参加人数
R6. 4月～6月	認知症基礎研修	5
R6. 6. 20	居宅意見交換会	2
R6. 6. 28	R6年第一回八千代市包括支援ケアマネジメント研修会	2
R6. 6月～9月	介護福祉士介護課程Ⅲ（全7回）	1
R6. 8. 10	食支援研修	1
R6. 7. 18	八千代ケアマネ ネットワーク農業交流会	2
R6. 12	R6年度外国人介護人材の為の介護福祉士試験対策講座	2
R6. 11. 8	八千代市高齢者施設における感染対策を考える会	4
R6. 10. 1	R6年第二回提携施設懇談会	2
R6. 12. 3、4	R6年介護福祉士受験者特別研修会	2
R7. 1. 10	L I F E時代の介護記録研修（オンライン）	3

## 2) 内部研修

日程	研修内容	参加人数
R6. 7. 16/7. 25	感染症研修 第1回	30
R6. 8. 1～8. 31	口腔ケア研修 第1回	9
R6. 8. 1～8. 31	事故防止研修 第1回	9
R6. 9. 1～9. 30	服薬介助研修/新人研修/介護予防及び要介護度研修/進行予防の関する研修	30
R6. 10. 1～31	福祉用具研修/排泄・入浴・食事介助の基本	25
R6. 10. 1～31	倫理及び法令遵守に関する研修	18
R6. 11. 1～30	感染症・食中毒の予防及びまん延防止研修 第2回	14
R6. 11. 1～130	事故防止研修・ヒヤリハット研修/福祉用具研修第2回	23
R6. 12. 1～31	接遇に関する研修	13
R6. 12. 1～31	拘縮ケア/姿勢ケア研修	19
R7. 1. 1～31	自立支援介護の実践研修/間接業務研修	12
R7. 1. 1～31	緊急時の対応に関する研修 第3回	15
R7. 2. 1～28	身体拘束の排除・高齢者虐待防止に関する研修 第2回	14
R7. 3. 1～31	認知症及び認知症ケアに関する研修	14

**4. 行事報告**

日程	行事内容	参加人数
5月	5月人形	入居者
7月	七夕	入居者
8月	夏祭り	入居者
9月	敬老会	入居者
1月	里神社	入居者
2月	節分	入居者
3月	お雛様	入居者

**5. その他報告事項**

1) 広報誌発行実績

ほうゆうの里だより

月1回発行

## VI. ほうゆうベビーホーム

### 1. 事業報告

令和6年9月に小規模グループケアに移設しました。開設前の1年間は小規模グループケアでの生活をスムーズに移行すべく主要メンバーで協議を重ねて備えましたが、新生活が始まると職員間には期待と困惑の狭間で戸惑いがみられました。しかし連携と協力一人一人の努力もあり物事を一つ一つ確認しながら着実に生活の土台を固めていくことが出来たように感じます。そして子どもたちは家庭的生活中で心身の健やかな成長を育んでいます。

#### 1) 権利擁護

権利擁護について内外の研修や個人面談を通して知識を高め、職員一人一人の権利擁護に対する理解を深め個人的主観で養育することをなくし子ども中心の生活が保障できるよう努めました。

#### 2) 情緒の発達

担当養育制を継続し小規模グループケアでの生活の中、子どもと職員の配置が固定したため子どもたちには担当者以外にも愛着対象ができ担当者が不在であっても落ち着いて安定した生活が送れるようになったように感じます。

#### 3) 親子関係の再構築

FSWが主となり面会・外泊の日程調整を行い、父母に引き取り意思があるなしに関わらず親子面会は進め家庭復帰を目指しています。必要に応じて面会には付き添いも行い親子の心身の負担軽減を図っています。

#### 4) 職員の育成・質の向上

OJTの見直しとして指導者が独自の手技や養育の指導に陥らないよう指導的立場の職員が新任職員に同じ説明ができるよう手技や養育について見直しを行いました。そして個人的主観で養育を行わないよう繰り返し全体会議や個人面談等で繰り返し見直しを行いました。

#### 5) 人材確保

令和6年度4月に5名の新任職員を迎え中途採用は3名でした。

6年度中の応募は44名で面接に至った人数は24名でした。しかし、乳児院のイメージと実働のギャップを知ると辞退や早期退職に至るケースも多々あり人材確保にはまだ苦難が続いています。

#### 6) 中長期計画

既存の建物を多機能化として活用するために人材の確保と安定した運営が必須です。引き続き人材確保に尽力を尽くしたいと思います。

## 2. 施設利用状況報告

### 1) 措置入所・一時保護委託

定員：29名

	措置入所		一時保護		合計	
	月初	延べ	月初	延べ	月初	延べ
4月	13	396	4	132	17	528
5月	14	435	2	89	16	524
6月	15	450	3	93	18	543
7月	15	465	4	127	19	592
8月	15	482	3	85	18	567
9月	16	479	4	120	20	599
10月	15	465	4	145	19	610
11月	15	450	5	152	20	602
12月	16	496	5	150	21	646
1月	18	558	2	62	20	620
2月	18	504	2	76	20	580
3月	18	558	3	107	21	665
合計	188	5,738	41	1,338	229	7,076

### 2) 入退所の状況

入所理由	人数	退所理由	人数
養育困難	0	家庭復帰	1
ネグレクト	8	措置変更	1
合計	8	合計	2

### 3) 子育て短期支援事業

ショートステイ利用延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
八千代市			3		1								4
鎌ヶ谷市													0
習志野市								2		1		1	4
佐倉市					1						1	1	3
印西市			1									1	2
白井市													0
合計	0	0	4	0	2	0	0	2	0	1	1	3	13

## 3. 研修報告

## 1) 外部研修

日程	研修内容	参加人数
R6.6.3～6.4	令和6年千葉県児童福祉施設協議会初任職員研修会	2名
R6.6.13～6.14	第58回関東ブロック乳児院研究協議会	2名
R6.6.29～6.30	2024年度全国児童養護問題研究会第51回全国大会	1名
R6.6.21	児童福祉施設における防災の備え	2名
R6.7.11～7.12	第67回全国乳児院研修会	2名
R6.10.10～10.11	第73回全国乳児院協議会	1名
R6.11.7～11.8	第41回関東ブロック乳児院協議会職員研修会	3名
R6.11.11～11.12	令和6年度千葉県児童福祉施設協議会初任職員フォローアップ研修会	2名
R6.11.27～11.28	令和6年度社会的養護を担う児童福祉施設長研修会	1名
R7.1.27	令和6年度千葉県基幹的職員研修及びユニットリーダー研修	1名
R7.2.1～2.2	人間発達講座 21世紀を生きるあなたと私の発達保障	1名
R7.2.26	東京都社会福祉協議会乳児部会令和6年度乳児院研修会	1名

## 2) 内部研修

日程	研修内容	人数
R6.6.24	不適切なかかわり・虐待のグレーゾーンについて	16名
R6.7.8	コロナウィルス等感染症対策の見直し	12名
R6.7.22	第58回関東ブロ乳児院研研究協議会報告	15名
R6.8.5	子どもの育ちをつなげるために	14名
R6.8.19	第58回関東ブロ乳児院研究協議会の研修報告	15名
R6.9.24	おしゃぶりの使用について	15名
R6.11.25	不適切な関わり・虐待に対する対応・権利擁護について	14名
R6.12.23	第41回関東ブロ乳児院協議会職員研修会報告	15名
R7.2.17	第67回全国乳児院研修会報告	17名
R7.3.17	東京社会福祉協議会乳児部会研修会報告・権利擁護について	13名

## 4. 行事報告

日程	行事内容	参加人数
R6.4.15	お誕生日外出	1名
R6.4.9 4.12	いちご狩り	4名
R6.4.15	お誕生日会	1名
R6.4.18	半日外出 BIG HOP ファンタジーキッズリゾート	2名
R6.4.23	半日外出 BIG HOP Moff animal world	2名
R.6.5.5	端午の節句	16名
R6.5.15	お誕生日外出	1名
R6.5.21	お誕生日会	1名
R6.5.23	半日外出 イオンユーカリが丘	2名
R6.5.30	お食い初め	5名
R6.6.3	半日外出 BIG HOP ファンタジーキッズリゾート	2名
R6.6.18	アンパンマンミュージアム	2名
R6.7.5	七夕・夏祭り	19名
R6.7.9 7.10	お誕生日外出	2名
R6.7.27	お食い初め	1名
R6.8.9	お誕生日会	3名
R6.8.13	お誕生日外出	1名
R6.9.6 9.9	お誕生日外出	2名
R6.9.10	1日行事 イオンユーカリが丘 あそびパーク	2名
R6.9.13	お誕生日会	2名
R6.10.7	花火	19名
R6.10.21	芋ほり	2名
R6.10.31	ハロウィン	20名
R6.11.7	1日外出 葛西臨海水族園	3名
R6.11.20	お誕生日会	1名
R6.11.20	お誕生日外出	1名
R6.12.13	お誕生日会	1名
R6.12.13	お誕生日外出	1名
R6.12.23	クリスマス会	21名

日程	行事内容	参加人数
R7.1.1	お正月行事	20名
R7.1.6 1.15 1.17 1.23	初詣	17名
R7.1.15 1.20	お誕生日会	5名
R7.1.20 1.23	お誕生日外出	4名
R7.1.25	しまじろうコンサート	2名
R7.2.2	節分	11名
R7.2.10 2.12	お誕生日外出	3名
R7.2.12	お誕生日会	2名
R7.2.28	アンパンマンミュージアム	2名
R7.3.3	桃の節句	20名
R7.3.17	お誕生日外出	1名
R7.3.22 3.24 3.25 3.28 3.31	お花見	13名
R7.3.24	お誕生日会	1名

## 5. その他報告事項

### 1) 施設実習受入実績

保育実習	9件
里親実習	0件

### 2) ボランティア実績

ヘアカット	2件
-------	----

## VII. 子ども未来サポートセンターやちよ

### 1. 事業実績報告

A、相談件数（個別相談・指導）

※設置運営要綱4-（1）（4）の一部等に該当

(1) 月別相談実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受理人数	33	4	5	9	11	6	5	4	7	10	3	5	102人
継続相談人数	0	17	22	20	21	24	23	21	20	25	16	20	229人
月別相談実人数	33	21	27	29	32	30	28	25	27	35	19	25	331人

<※月別相談実人数①は相談を受け付けた方の実人数>

(2) 月別相談延件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	78	81	78	83	59	44	49	38	35	82	42	50	719
来所相談	2	0	0	2	2	6	1	2	0	2	0	3	20
訪問相談	23	12	23	16	20	16	17	11	17	21	9	16	201
心理療法等	1	1	1	0	1	1	0	3	0	0	0	0	8
メール・SNS・手紙相談	1	1	0	1	1	1	2	3	2	1	3	2	18
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月別延件数	105	95	102	102	83	68	69	57	54	106	54	71	966件

<※月別相談延件数は、実際に支援を行った回数のごと>

(3) 相談・指導内容の種別延件数

養 護		保 健 障 害	非 行		育 成			その他	合計		
虐待	その他		ぐ犯等	触法行為	性格行動	不登校	適 性				
17	107	81	1	0	0	28	17	31	295	389	966件

<※②と③と④は同数>

(4) 相談経路別受付延件数

県・市町村			児童福祉施設		保健所 及び 医療機 関	学校等	家族 親戚	近隣 知人	児童 本人	18歳 以上本 人	里親 里子	その他	合計
児童 相談所	福祉 事務所	その他	保育所	その他									
182	43	0	2	1	0	279	0	10	361	88	0	966件	

<※②と③と④は同数>

B-1 指導措置委託【児童相談所からの指導委託】

※設置運営要綱4-（3）に該当

(1) 受託人数

(月別受託人数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
												人

(実人数)

(※総委託月数と同数)

人 ⑥ <※委託を受けた人数>

(2) 支援内容の種別

養 護		保 健 障 害	非 行		育 成			その他	合計
虐待	その他		ぐ犯等	触法行為	性格行動	不登校	適 性		
									人

<※⑥と⑦は同数>

(3) 月別支援延件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話支援													0
来所支援													0
訪問支援													0
心理療法等													0
メール・SNS・手紙支援													0
その他													0
月別延件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	件

VII. 子ども未来サポートセンターやちよ

B-2 指導促進事業【市町村（特別区を含む）の要対協において児家センが主たる支援機関とされたケース】

(1) 受託人数

〈月別受託人数〉

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	人 <sup>⑨</sup>

〈実人数〉            人<sup>⑩</sup>〈※委託を受けた人数〉 (※総委託月数と同数)

(2) 支援内容の種別

養 護		保 健	障 害	非 行		育 成				そ の 他	合 計
虐 待	そ の 他			ぐ 犯 等	触 法 行 為	性 格 行 動	不 登 校	適 性	育 児 ・ し つ け		
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	人 <sup>⑪</sup>

〈※⑩と⑪は同数〉

(3) 月別支援延件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
来所支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心理療法等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
メール・SNS・手紙支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月別延件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	件 <sup>⑫</sup>

C、市町村（特別区を含む）の求めに応ずる事業

※設置運営要綱4-（2）に該当

事 業 名	実施回数	内 容
合計	回	⑬

D、里親等への支援（相談対応「実績報告A-1、個別相談」以外の支援・事業等）

※設置運営要綱4-（4）に該当

事 業 名	実施回数	内 容
応援ミーティング（里親・里子）	3	情報共有と支援の検討会
里親支援機関等連絡会議	12	里親支援における情報共有など
里親認定登録通知書交付式	2	参加及びセンター紹介
里親会総会	1	参加及びセンター紹介
合計	18回	⑭

E、関係機関等との連携・連絡調整

※設置運営要綱4-（5）に該当

事 業 名	実施回数	内 容
要対協実務者会議	17	関係機関との連携、要保護児童等の報告と検討
連携・連絡調整	26	関係機関との情報共有や支援の検討
合計	43回	⑮

2. 事業実績報告集計表

①	相談の実人数（合計）	102 人
②	相談延件数（合計）	966 件
②の内訳	電話相談件数	719 件
	来所相談件数	20 件
	訪問相談件数	201 件
	心理療法等の件数	8 件
	メール・SNS・手紙相談の件数	18 件
	その他の相談の件数	0 件
⑬	市町村（特別区を含む）の求めに応ずる事業	0 回
⑭	「里親等への支援」（相談対応以外の支援・事業等）の回数	18 回
⑮	「関係機関等との連携・連絡調整」の回数	43 回
⑯	要綱に規定された事業回数（合計）	61 回
⑰	相談延件数と要綱に規定された事業回数の総合計（②+⑯）	1,027 件・回
②-1	子ども家庭庁が求める訪問相談件数（実績を2倍した件数）	402 件
⑱	子ども家庭庁が求める相談延件数（訪問相談件数については2倍）と事業回数の総合計	1,228 件・回
⑤	児童相談所からの指導委託延人数（＝委託総月数）	0 人
⑥	児童相談所からの指導委託実人数	0 人
⑧	支援延件数（合計）	0 件
⑧の内訳	電話支援件数	0 件
	来所支援件数	0 件
	訪問支援件数	0 件
	心理療法等の件数	0 件
	メール・SNS・手紙の支援件数	0 件
	その他の支援の件数	0 件
⑨	市町村（特別区を含む）の要対協において児家センが主たる支援機関とされたケース受託延人数（＝委託総月数）	0 人
⑩	市町村（特別区を含む）の要対協において児家センが主たる支援機関とされたケース受託実人数	0 人
⑫	支援延件数（合計）	0 件
⑫の内訳	電話支援件数	0 件
	来所支援件数	0 件
	訪問支援件数	0 件
	心理療法等の件数	0 件
	メール・SNS・手紙の支援件数	0 件
	その他の支援の件数	0 件

## VIII. ゆうゆう保育園

### 1. 事業報告

当保育園は定員名の認可保育園として、平成 23 年度に開設され、乳幼児の保育にあたってきました。

地域における保育ニーズは高く、当保育園への入園希望も多い状況を踏まえ、定員を超えた園児の受け入れに努め、令和 6 年度においても、地域の状況等を考慮し、引き続き、それを基本に入園児の受け入れに努めました。

14 年目を迎えた昨年度は、これまでの取り組み実績の上にさらに充実した保育を行い、子どもたちが元気に安心して生活できるよう、保育環境の向上に取り組みつつ、きめ細かい養護及び教育に努めていきました。

また、地域における子育て援助、支援のセンターとして、期待される役割を果たすため、地域支援センター事業を行いました。

そして、保育士不足が問題になっている中、積極的に実習生を受け入れ、令和 6 年度においては、7 名が当保育園で実習を行いました。又 1 名が当保育園で職場体験を行いました。就職にはつながりませんでした。

支援センター事業は、引き続き、感染症対策として、利用親子の人数を 5 組に制限をして実施しました。

一時保育は、令和 5 年 2 月まで実施し、3 月からは、退職者の有休消化と、正規職員が産休に入った為、休止とし、令和 6 年度も保育士不足の為、休止としています。

日々、保育園内の消毒、玩具消毒は今までどおり実施し、当保育園関係者のマスク着用は、本人の意思によるものとしました。

当保育園の改修工事として、園舎 1F ランチルームの既存のエアコンの冷暖房機能が修理不能となり、エアコンを新たに設置しました。

## 2. 施設利用状況実績報告

## 1) 年齢別クラス内訳

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	6	12	18	18	18	18	90
4月	3	14	14	19	20	20	90
5月	3	14	14	19	20	20	90
6月	3	14	14	19	20	20	90
7月	3	14	14	19	20	20	90
8月	3	14	14	19	20	20	90
9月	3	14	14	19	20	20	90
10月	3	14	14	19	20	20	90
11月	3	14	14	19	20	20	90
12月	3	14	14	19	20	20	90
1月	3	14	14	19	20	20	90
2月	3	14	14	19	20	20	90
3月	3	14	14	19	20	20	90
平均	3	14	14	19	20	20	90

## 2) 時間外保育・一時保育・親子クラブ

	時間外保育		一時 保育	親子クラブ		
	標準	短時間		児童	保護者	合計
4月	27	1		13	11	24
5月	33	1		15	12	27
6月	38	0		26	23	49
7月	44	2		31	26	57
8月	35	2		35	32	67
9月	37	2		36	34	70
10月	43	5		38	37	75
11月	43	4		44	40	84
12月	41	6		34	27	61
1月	35	3		34	32	66
2月	37	8		50	43	93
3月	37	5		48	43	91
合計	450	39		404	360	764

## 3. 研修報告

## 1) 外部研修

日程	研修内容	参加人数
R6. 6. 20	新社会人研修会	1名
R6. 7. 24	幼保小連携教育研修会	2名
R6. 8. 19	特別支援教育研修会	1名
R6. 7. 26	幼児教育委セミナー	1名

## 2) 内部研修

日程	研修内容	人数(対象)
毎月	職員会議	全職員
	給食会議	7名
	リーダー会議	4名
	フロアー会議 未満児・以上児	全職員
R6. 7. 1	人権擁護のためのセルフチェック	全職員
R6. 10. 7	事故防止について	全職員
R6. 3. 18	セルフチェックについて	全職員
R6. 3. 18	自己評価について	全職員
R6. 10. 17、29	心肺蘇生法・誤飲対処法	全職員

## 4. 行事報告

日程	行事内容	参加人数
R6. 4. 20	入園進級の会・交流会	全園児・保護者
R6. 5. 24	歩き遠足	以上児・2歳児
R6. 6. 3～7. 12	保育参加・試食会	全園児・保護者
R6. 6. 10～14	個人面談	全園児
R6. 6. 12	内科健診	全園児
R6. 6. 13	歯科検診	保護者
R6. 6. 26	交通安全教室	4・5歳児
R6. 7. 5	七夕会	全園児
R6. 7. 16	水遊び開始	全園児
R6. 8. 3	夏祭り	全園児
R6. 8. 22	水遊び収め	全園児
R6. 8. 23	泥遊び	以上児
R6. 9. 6	ボディーペインティング	以上児
R6. 10. 12	運動会	全園児・保護者

日程	行事内容	参加人数
R6. 10. 25	歩き遠足	以上児・2歳児
R6. 11. 1	消防署見学	4・5歳児
R6. 11. 6	内科健診	全園児
R6. 12. 4	チーバ君来園	全園児
R6. 12. 14	お楽しみ会	1～5歳児 保護者
R6. 12. 20	餅つき会	全園児
R6. 12. 25	クリスマス会	全園児
R7. 1. 9	新年会	全園児
R7. 1. 16、23	書初め	5歳児
R7. 1. 31	節分会	全園児
R7. 2. 10～14	個人面談	保護者
R7. 2. 13	劇団影法師「たまご」	全園児
R7. 3. 1	入園説明会	R7 入園保護者
R7. 3. 3	ひな祭り	全園児
R7. 3. 8	卒園式	5歳児・保護者
R7. 3. 13	お別れ会	全園児
R7. 3. 14	卒園遠足	5歳児
R7. 3. 25	お茶会	5歳児

## 5. その他報告事項

### 1) 施設実習受入実績

保育実習	7名
保育体験実習	1名

### 2) 広報誌発行実績

園だより	月1回発行
------	-------

## IX. ゆうゆう苑

## 1. 事業報告

令和 6 年度は基本に立ち返り、重点目標にある法令などの遵守を基本方針として業務執行に努めた。年度前半は、サービス種類ごとに定められた事業運営基準を基に、ケアの実際についての現状との差異を確認し、令和 5 年度に千葉県より改善を求められた法令順守違反にあたる部分の整備と改善を行った。年度後半はケアの評価、改善を行いつつ、各委員会・研修の実施に努めた。コロナ過から数年、外部の目が外部の目が入っていなかったが客観的な視点に立ち整備を行うことで、入居者様にとって快適な環境を提供できるようになり、職員にとっても委員会や研修への参加意識を高める結果につながった。

しかしながら、入居者様の安全確保、特にリスク管理については昼夜の緊急時の対応が周知、理解されていない現状があり複数回に渡り研修を実施はしたが不安が残る結果となっている。こちらについては、外国人の日本語学力の低さが大きな課題となっているため、自分たちで学習する意欲を高める意識付が急務であると考えている。

職員の確保については、あらゆる募集活動に取り組み入職者も増えたが、退職者も多くユニットが開けられない状態が続いている。

入居申し込みについては、営業活動を積極的に行うことができた数か月間は伸びたが、その後は全体的に減少傾向にある。

そして、虐待・不適切ケアについての報告があり、全体で「虐待は絶対に許さない」をスローガンに取り組んできたが改善できなかった。基本の OJT ができていない事が退職へ繋がり、最大の課題となっている。

## 2. 施設利用状況実績報告

## 1) 特別養護老人ホーム

	定員80	延べ 人数	稼働率	入院者 除く	平均 要介護度	入院 日数	入院 比率
4月	2,400	1,560	65.0%	1,320	55.0%	115	7.4%
5月	2,480	1,674	67.5%	1,488	60.0%	102	6.1%
6月	2,400	1,710	71.3%	1,680	70.0%	18	1.1%
7月	2,480	1,860	75.0%	1,705	68.8%	61	3.3%
8月	2,480	1,953	78.8%	1,612	65.0%	183	9.4%
9月	2,400	1,950	81.3%	1,620	67.5%	259	13.3%
10月	2,480	1,984	80.0%	1,643	66.3%	222	11.2%
11月	2,400	1,860	77.5%	1,470	61.3%	143	7.7%
12月	2,480	1,953	78.8%	1,798	72.5%	27	1.4%
1月	2,480	1,953	78.8%	1,860	75.0%	27	1.4%
2月	2,240	1,652	73.8%	1,456	65.0%	78	4.7%
3月	2,480	1,767	71.3%	1,426	57.5%	107	6.1%
合計	29,200	21,876	74.9%	19,078	65.3%	1,342	6.1%
平均	2,433	1,823	74.9%	1,590	65.3%	112	6.1%

閉鎖していた2ユニットのうち1ユニットは一時的に開けることができたが、再び閉鎖している。職員の退職だけではなく、長期入院に至るケースが多くベットコントロールができていない。

2) 短期入所生活介護

千葉市介護事業課より、ユニットが閉鎖している状態での新規受け入れは不可との指導のため令和6年度は稼働していない。

3) 共生型通所サービス

月	レセプト実績数		利用中止数	
	高齢者	放デイ	高齢者	放デイ
4月	18	0	0	0
5月	16	0	2	0
6月	16	0	0	0
7月	15	0	1	0
8月	16	0	0	0
9月	26	0	0	0
10月	24	0	2	0
11月	24	0	0	0
12月	24	0	0	0
1月	24	0	0	0
2月	26	0	0	0
3月	27	0	0	0
合計	256	0	5	0

	定員15	延べ人数	稼働率
4月	390	151	38.7%
5月	405	138	34.1%
6月	375	150	40.0%
7月	405	140	34.6%
8月	405	143	35.3%
9月	375	215	57.3%
10月	405	178	44.0%
11月	375	193	51.5%
12月	390	189	48.5%
1月	405	185	45.7%
2月	360	188	52.2%
3月	390	197	50.5%
合計	4,680	2,067	43.8%
平均	390	172	44.4%

少しずつだが、利用者延べ人数が増えてきている。職員が不足してきていて、送迎時間が間に合わないなどの課題が出てきているため採用を急いでいる状況。

4) 医務

1. オンコール・病院受診実績報告

	病院受診 (往診含む)												
	オン コー	整形	皮膚 科	老年 精神	循環 器内	形成 外科	総合 内科	DM外 来	呼吸 器内	泌尿 器科	腎臓 内科	訪問 歯科	往診
4月	0	3	3	0	0	3	0	2	0	2	0	4	4
5月	0	3	3	1	1	2	0	0	0	0	1	3	4
6月	0	1	3	0	0	2	0	1	0	0	1	4	4
7月	1	2	2	0	0	2	2	2	0	0	0	4	4
8月	1	1	3	0	0	2	1	1	1	1	0	4	4
9月	0	3	3	1	0	1	4	1	0	0	0	4	4
10月	0	0	1	0	0	1	6	2	0	0	0	3	4
11月	1	1	0	0	1	1	3	1	0	2	0	4	4
12月	0	1	3	0	0	2	5	3	0	1	0	3	4
1月	3	0	2	0	0	0	2	2	1	1	0	3	4
2月	0	0	1	0	0	0	7	3	0	1	0	4	4
3月	1	2	1	0	0	0	7	2	0	1	0	4	4
合計	7	17	25	2	2	16	37	20	2	9	2	44	48
平均	0.6	1.4	2.1	0.2	0.2	1.3	3.1	1.7	0.2	0.8	0.2	3.7	4.0

2. 入居者健診実績報告

令和6年度8月22日 68名実施 担当：轟クリニック

3. 医務全体状況報告

令和6年12月1名、令和7年度2月1名とインフルエンザ罹患した入居者がいたが、令和6年度に実施したガウンテクニックの研修の効果もあり感染拡大を防ぐことができた。

入居者の体調不良の早期発見で受診を実施することで、夜間帯のオンコールや救急搬送が少なかった。

3. 研修報告

【外部講師による研修】

日程	研修内容	
R6. 4. 11、30	認知症ケアの理解	ユニットケアの考え方 認知症ケア
R6. 6. 11、27	介護従事者の接遇	ビジネスマナー 就業規則など
R6. 8. 13、29	事故防止の知識	事例から学ぶリスクマネジメント
R6. 10. 8、24	虐待防止とメンタルヘルス	支援における職員のストレスと感情
R6. 12. 10、25	感染症の予防とまん延防止	食中毒予防 衛生管理
R7. 2. 18、29	虐待防止・身体拘束排除の知識	スピーチロックなど事例検討

【ユニットリーダー研修】

R6. 6. 24～27 千葉県銚子市「特別養護老人ホーム松嶺の丘」で実施

【避難訓練】

R6. 5. 25 (消火訓練)、令和6年10月18日 (昼想定 火災)

【委員会】

●感染症対策委員会

【構成メンバー】 施設長 介護支援専門員 生活相談員 管理栄養士 機能訓練指導員 看護師 介護職員

【開催実績】 計4回 (3か月毎 第2月曜日)

【本年度の取り組み】

・感染症発生時の対応と実践・法定研修

【振り返り】

法定研修や多職種での意見交換により、手指消毒など基本的な感染対策を忘れずに行う意識が定着し感染対策が各自で徹底できるようになった。

<p>●虐待・身体拘束撲滅委員会</p> <p>【構成メンバー】 施設長 介護支援専門員 生活相談員 管理栄養士 機能訓練指導員 看護師 介護職員</p> <p>【開催実績】 計4回（3か月毎 第1木曜日）</p> <p>【本年度の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不適切ケア・グレイゾーンに関する事例検討の実施・法定研修</li> </ul> <p>【振り返り】</p> <p>前年度からのスローガン「虐待は絶対に許さない」が達成できなかった。スピーチロックに関して職員によって意識に差が見られた。自分や他の職員が行っている支援について「これは大丈夫なのか？」と考え意識・行動することの重要性など委員会を通して発信していく。</p>
<p>●事故対策委員会</p> <p>【構成メンバー】 施設長 介護支援専門員 生活相談員 管理栄養士 機能訓練指導員 看護師 介護職員</p> <p>【開催実績】 計4回（3か月毎 第4木曜日）</p> <p>【本年度の取り組み】</p> <p>開催ごとに前月の事故・ひやりはっと・誤薬事故の振り返りを実施・法定研修</p> <p>【振り返り】</p> <p>ひやりはっとが活用されていなかった背景から、活用しながら事故防止につなげていくことを目標に掲げ、振り返りとともに重要性の確認を行った。また、各ユニットへ正しい書類の書き方・記録を習慣づけていった。服薬マニュアルの再確認を行い、誤薬がないよう意識付けを行うことができた。</p>
<p>●給食委員会</p> <p>【構成メンバー】 施設長 介護支援専門員 生活相談員 管理栄養士 機能訓練指導員 看護師 介護職員</p> <p>【開催実績】 計4回（3か月毎 第4水曜日）</p> <p>【本年度の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事食の立案と実施および反省・衛生管理・清掃状況のチェック及び周知</li> <li>・嗜好調査とその結果の検討、利用者様からのフィードバック・嚥下勉強会</li> </ul> <p>【振り返り】</p> <p>行事食は定期的に提供することができ、利用者様から好評だった。</p> <p>トロミ剤の使い方が、各ユニットで統一されていなかったため嚥下勉強会を実施することで、誤嚥について深く知るいい機会になっていた。</p>

<p>●ハラスメント委員会</p> <p>【構成メンバー】 施設長 介護支援専門員 看護師</p> <p>【開催実績】 計4回 (3か月毎 第3火曜日)</p> <p>【本年度の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラスメント防止についてのポスター掲示・マニュアルの制定</li> </ul> <p>【振り返り】</p> <p>職員間でのハラスメントに関する直接相談が4件、意見箱を活用した通報が3件あった。対象者に定期的に面談を実施することで、解決につながっている。</p>
<p>●業務継続委員会</p> <p>【構成メンバー】 施設長 介護支援専門員 生活相談員 管理栄養士 機能訓練指導員 看護師 介護職員</p> <p>【開催実績】 計12回 (毎月第4金曜日)</p> <p>【本年度の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急連絡網訓練の実施・避難訓練実施・防災用品の選定・購入</li> </ul> <p>【振り返り】</p> <p>緊急連絡網訓練はBAND (共通アプリ) を使用しての初めての試みだった。スムーズに実施できたがシニア世代など使い方がわからない職員への再周知が必要。避難訓練の実施は、夜間想定訓練が実施できていないため来年度実施する。</p>

#### 4. 行事報告

日程	行事内容
4月	誕生日会 花見会
5月	誕生日会 飾り
6月	誕生日会
7月	誕生日会 夏祭り ユニット内で実施
8月	誕生日会 夏祭り ユニット内で実施
9月	誕生日会 敬老会
10月	誕生日会 ハロウィン飾り
11月	誕生日会
12月	誕生日会 クリスマス会
1月	誕生日会 おせち料理 鳥居/ユニット参拝
2月	誕生日会 節分豆まき
3月	誕生日会

#### 5. その他報告事項

1) ボランティア受入実績	三味線等、和楽器演奏	毎月1回程度
---------------	------------	--------

## X. ゆめ

### 1. 事業報告

令和5年9月に開設をし、1年を迎えることが出来ました。

昨年度同様、法人関連施設、医療機関、居宅介護支援事業所への周知活動を行い、利用者数は月平均36名、訪問件数は年間で3,099件となりました。保険サービス以外にも健康管理などの業務委託として、施設への定期訪問もすることが出来ました。

スタッフの定着、働きやすい環境作りを目指していましたが、時間外のオンコール対応や医療処置が増えたことで、スタッフへの負担が増加し、退職者が出るなど、安定した事業所運営をする厳しさを感じました。

スタッフの人員に変動がある中でも、必要とされる看護や医療・介護の情報提供を実施し、利用者様が安心して在宅療養ができる環境作りをして来ました。24時間対応や休日の対応も継続することができ、安定した看護、寄り添ったサービスの提供、困った時に相談できる事業所を掲げ、医療機関や居宅介護支援事業所へ周知をすることが出来ました。

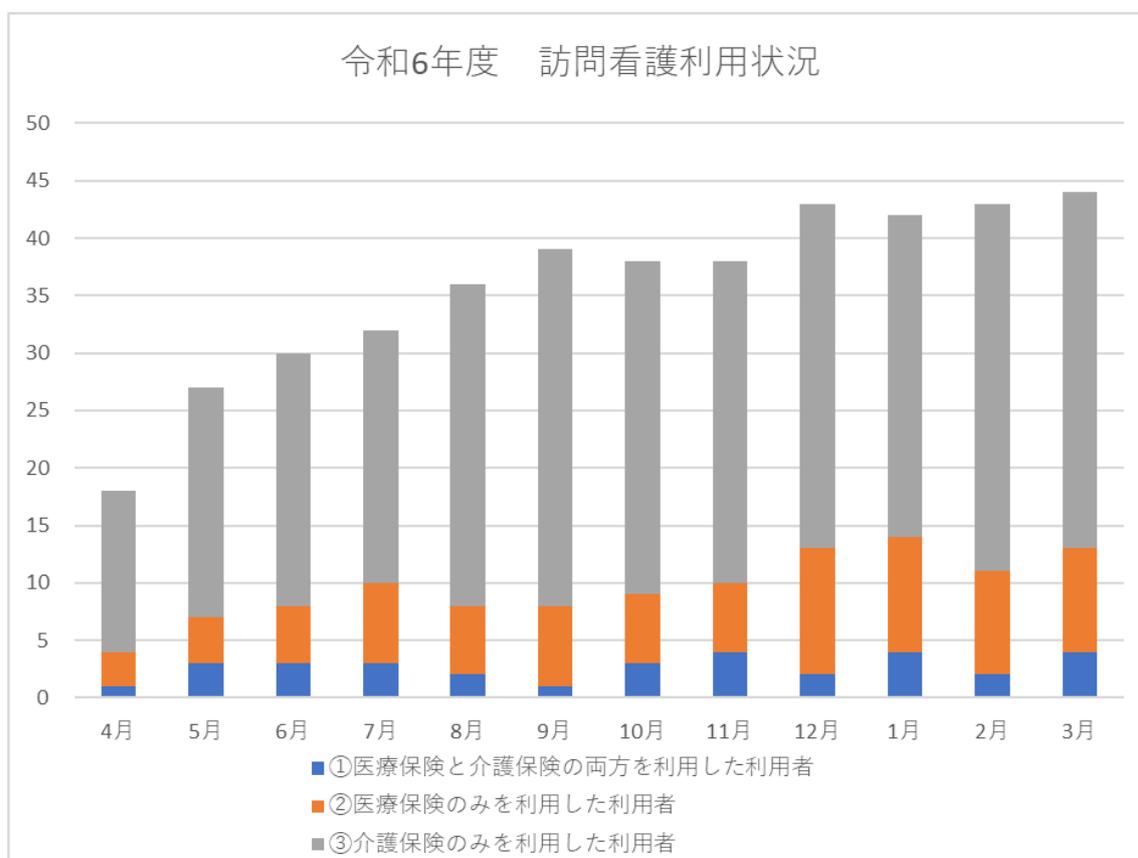
引き続き、医療機関やケアマネージャーへの情報提供を的確に行い、信頼を積み重ね、当ステーションを知っていただく機会を増やせるよう努めています。

難病や医療依存度の高い方への訪問を通し、スタッフの経験値も増え、困難事例にも対応できるようになりました。当ステーションのスキルアップのために、定期的な研修の参加や、症例検討を行い、全スタッフが質の高い看護を提供できるよう努めています。

## 2. 利用実績報告

新規依頼は、月 3～5 件あり、新規相談を受け、契約・訪問までに至った割合は 88%となりました。契約に至るまでに、お亡くなりになった場合や、訪問看護の必要性を理解していただくことが難しい事例もあり、全ての依頼が契約に繋がることはありませんでした。利用者様が増えても、看取りや入院、緊急対応の有無などに影響され、利用者様や訪問回数の増減がありました。

カンファレンスや研修の参加、利用者様への介入を通し、新規の依頼は、ケアマネジャーからだけでなく、病院や訪問診療からの依頼も多くありました。



### 3. 研修報告

#### 1) 外部研修

開催月	研修内容	参加人数
4月	誤嚥性肺炎を防ぐポジショニングと口腔ケア	1名
5月	パーキンソン病の薬物療法	1名
6月		
7月	おひとりさまの支援	1名
8月		
9月		
10月	パーキンソン病の嚥下障害と対応	1名
11月	ハラズメント対策	2名
12月		
1月	みんなで繋ぐ意思決定	1名
2月		
3月		

#### 2) 内部研修

開催月	研修内容	参加人数
4月	接遇、保険制度について	3名
5月	高齢者虐待	4名
6月	個人情報管理、倫理、法理順守	4名
7月	リスクマネジメント	5名
8月	緊急対応・事例検討	5名
9月	災害時対応	4名
10月	感染症対策	5名
11月	ターミナル看護・事例検討	5名
12月	難病看護	5名
1月	認知症看護	5名
2月	在宅酸素	5名
3月	精神的ケア	5名